

かほく ワークシート

■「五濁」知り 自分見つめる

石川 陽菜 11歳

(宮城県加美町・小学生)

「五濁(ごじよく)」と

いう言葉があります。五濁とは、世の中が濁り、人の心が濁り、思想が濁り、そして心身を傷つけ、寿命まで短くしてしまう五つの「濁」を指すそうです。

私は日蓮宗のお坊さんが書いた記事の中からこの言葉を見つけました。

最初はむずかしい言葉だと思いましたが、考えてみると、今の世の中をそのままあらわしているような気がしました。

なぜなら、新聞やテレビで、私と同じくらいの年齢の子どもたちが殺されたというニュースを、よく見るからです。たとえどんな気持ちになっても、人を殺す

のは決して許されないと思っています。

だからお坊さんは、世の中全体が濁り、汚れてしまっていると伝えているのではないのでしょうか。

また、私たちはいろいろなことを学んだり、いろいろな人に出会ったりする中で成長し、人を愛するのだということをお坊さんが教えてくれました。

これ以上世の中が濁らないように、私も自分のことを見つめ直して、人と人の「縁」を大切にしていきたいです。

自分の心に濁りがなく、きれいな花を咲かせられるくらい正しい気持ちを持つように、いつも笑顔で一生懸命に生きていけたらいいなあと思います。

(2015年9月12日河北新報朝刊)

- ①「五濁」とはどの世界で使われる言葉ですか。
- ②筆者はこの言葉を何で知りどう思いましたか。
- ③筆者はお坊さんが書いた記事を読んで何を学びましたか。
- ④筆者は今後どのようにしていきたいと考えていますか。
- ⑤筆者は「いつも笑顔で一生懸命に生きていけたら」、何が得られると言っていますか。